

ツリガチ!

TSURI GACHI

撮影/文◎本誌編集部

東京湾のルアー五目

やはり
今日はフオール、
なのか……



TACHIUO タチウオ
INADA イナダ



★40グラムのメタルジグをキャストし、フオール中にヒット!



▲丸まると太ったイナダもよく釣れた
▶タチウオは1メートル級が多かった



▲トリヤマやナブラを探す船長
◀釣り場は羽田～浦安沖の水深15メートル前後



ヨッシーこと吉岡進がエサ、ルアー釣りを問わず、様々な釣り物にガチでチャレンジしていく連載「ツリガチ!」。第6回は東京湾のルアー五目。サワラを主体にタチウオやイナダ、シーバスなどが釣れるがとくに今秋はサワラの群れが濃く、出船軒数も増えている人気の釣りである。

今年一番の寒波が襲来し、冷たい雨が降る10月22日に釣行したのは東京湾奥千住大橋・入舟のルアー五目乗合。豊嶋誠一船長が向かったのは、ベイト(5センチ前後のカタクチイワシなど)の反応が多く見られる羽田～浦安沖の水深15メートル前後。



▲タカハシゴーが120センチのタチウオを上げる



★イナダも釣って三目達成



▲ヘビーウェイトシンキングミノー、シンキングペンシル、テールスピニング、パイプレーション、ジグヘッドリグと各種試し、ヒットパターンを探っていた



東京湾のルアー五目で初サワラ!

▼サワラはバレやすいため取り込むまで気が抜けない

Profil ◆よしおか すずむ
1982年生まれ。ヨッシーの愛称で親しまれている。一つテンヤマダイ、ライト系オフショールアーを得意とする。ジャッカルソルトプロスタッフ、シーガーインストラクター。

◆本編(62ページより)は高橋剛が執筆。沖釣りの楽しさをヨッシーとともにお伝えします!



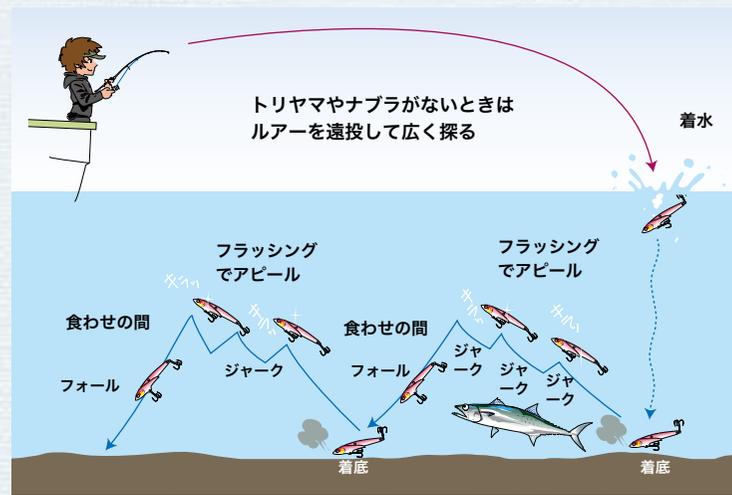
★安全のためフックのカエシをペンチなどで潰しておく

ドテラ流しのサワラの釣り方

●ドテラ流しでサワラを釣るときは群れが沈んでいるためテールスピニングをキャストし、着底したら早巻きするのが定番だが、当日のヨッシーのヒットパターンはジグやメタルバイブを着底させたら数回ジャークしてアピールして、カーブフォールの繰り返し。フォール中に竿先に出るアタリをとらえて合わせた。

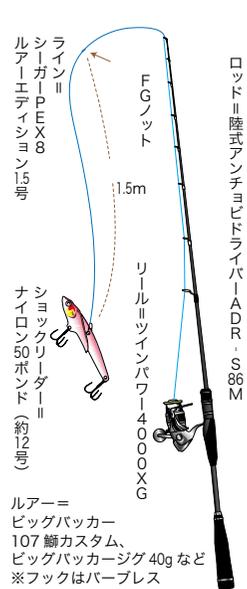


▲竿先を揺らすような小刻みなジャークでルアーをアクションさせる

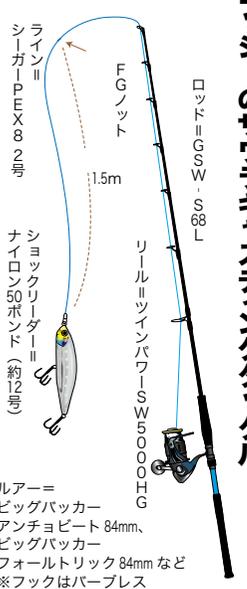


東京湾のサワラタックル

飛距離重視の場合



取り回し重視の場合



ヨッシーのサワラキャスティングタックル



▲当日は広く探れるよう飛距離重視のタックルをメインに使った



▲ヒットルアーはジャッカルビッグバックカー107鱈カスタムとビッグバックカー-ジグ40グラム



▲最大85センチを頭に3尾のサワラを釣り上げた常連の飯田さん。ヒットルアーはすべて30グラムのテールスピニング



▲釣り上げたサワラが吐き出した5センチほどのカタクチイワシ。ベイトのサイズにルアーを合わせるのも有効

▲大きなネットを使い、スパッとタモ取りしてくれる豊嶋船長

どうか
巻きの正解を
見つけたいんだけど……



▲40グラムのブレード付きメタルジグの早巻きに食ってきた
▶巻くスピードが遅いとシーバスがヒット



★アタるまでひたすらキャスト&リトリブを繰り返す

うーん、
モヤモヤが
残るなあ……



ポイントにトリヤマやナブラがあればナブラ撃ちでヒットシーン丸見えのエキサイティングな釣りが楽しめるのだが、この日はナブラが見られず、魚探に映るベイトの反応を探してドテラ流しで広く探っていた。開始から2時間、最初にサワラを手にしたのは40グラムのメタルジグを使っていたタカハシゴー。ヨッシーはこの1尾をヒントにルアーや釣り方の最適解を導き出し、すぐさまサワラを釣り上げる。

各種ルアーを携えて東京湾のルアー五目に挑んだヨッシー。詳しくは62ページからの本編にて！

▲40グラムのメタルジグをチョイス

#船宿インフォメーション

東京湾奥 入舟

千住大橋
☎03-3806-4444
(詳細は巻末の情報欄参照)

- 料金=ルアー五目乗合一人1万円(水付き)
- 備考=6時出船。ルアータッチウオ、餌木スミイカへも出船



▲千住大橋のたもとから出船し、隅田川を下って東京湾へ向かう
▲豊嶋 誠一船長(右)